日本防災士会　東京支部　多摩ブロック

防災活動記録

出席者:多摩ブロック員14名、多摩西郵便局長会員6名。

開催時　2017.12.3。 8:30～16:00

開催場所　多摩ﾓﾉﾚｰﾙ立川南口駅周辺

文責：副代表　板野孝幸

1. 取組の目的

立川南口防災フェア開催にあたり、多摩ブロックへ運営協力の要請を受け、緊急車両の誘導、救命救護（心肺蘇生方法、AED操作法）、災害時の避難・人命救助手段としてロープ結索と活用法について普及活動を担当した。

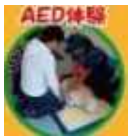
2. 防災フェア参加者

多摩ブロックメンバー：14名
多摩西郵便局長会員：6名

【　参加された有志の方々　】

3. 防災フェア活動内容

イ. 救命救護（心肺蘇生／AED）



心肺蘇生ダミー人形を用い胸部圧迫の仕方、AEDの操作方法を一般市民に体験していただいた。

ロ. ロープ結索と災害時の活用法

倒壊建物からの脱出、構造物への固定斜面等の移動時に有効な結索法。水難に伴う救助用ロープの結索方法をポイントを踏まえ個別に指導。

ハ. 起震車による地震体験（立川市生活安全部）

起震車により、地震遭遇時自分の安全確保の仕方、強い揺れに敏感となる機会により地震災害を忘れないために！

ニ. 車衝突時の衝撃体験（トヨタドライビングスクール）

衝突模擬試験車にて運転席で壁に衝突した際に、シートベルト着用による安全性と衝撃体験をしていただいた。
皆さん着用を忘れずに！

ホ. 各参加団体の活動

①炊出し：陸上自衛隊立川駐屯地

冬場の寒い季節での訓練参加者は暖かい炊出しで芯から温まっていただけた。

②救出模擬：警視庁災害機動隊

10階建てビルの屋上から負傷者搬送、高所からの降下を繁華街にて実動を想定した訓練を展開通行人も足を止めて見入っていた。

③消火演技：消防庁立川消防署

高度ビル火災を想定して放水並びにはしご車を導入した訓練が展開された。

④その他

フェア会場には緊急時の特殊車両が多く展示され、家族連れが興味津々でお子さんは制服を着用して写真撮影と盛況でした。

以上